



まなぶくん



第4号
2021.08.27 (金)
明倫小学校

長い夏休みが終わりました



今日から前期後半が始まりました。今年の夏休みはコロナ禍でのオリンピック開催や連日の猛暑など、例年とは違う過ごし方をしたご家庭も多かったと思います。夏休み期間、家庭での学習の様子はどうかでしょうか。宿題や自主学習を通して、得意を伸ばし、苦手を少しでも減らすことができていたら幸いです。夏休みの間、ご家庭での見守りや声かけ、サポートなどありがとうございました。今日からまた心機一転、学習も学校生活も充実したものになるよう、子ども達と一緒にがんばっていききたいと思います。

さっそく来週の8月31日(火)には、**漢字・計算フェスタ**があります。漢字・計算フェスタは、国語と算数の力がどのくらい付いているかをみる実力テストとなっています。内容は7月までのたしかめテストや夏休み問題集などから出題されます。合格点は90点以上です！土日ですっかり復習してテストを受けてほしいと思います。合格できない場合は、再テストがあります。

算数アンケートの結果のお知らせ<前期>

7月の終わりに、各学級で算数アンケートを実施しました。アンケートから明倫小学校の成果と課題が見えてきました。

<成果> 学校全体で算数の意欲が高まったと感じました。

- ① 算数が好きと答えた児童が低学年と中学年で50%を超えていました。
- ② めあてを持つ⇒問題を解く⇒ふりかえりを書く といった算数の流れが毎時間実践されているので、その3つをできたと答える児童が全校平均して65%でした。特に、「自分の力で問題を解こうとしている」は、「はい」と答えた児童が73%でした。

<課題> 自分の考えをどう表現するか、学習形態をどうするかに課題が残りました。

- ① 「自分の考えを絵・図・式・ことばで書ける」は全校的に低い傾向でした。
- ② 学習形態は、担任ともう1人教員が入るTT授業よりも、習熟度で分けたクラスでの授業をしたいと答えた児童が全校平均で44%でした。分からない問題をすぐに解決できる少人数クラスと、難しい問題にも挑戦するクラスで分かれて学習するなど、学習内容や子ども達の実態に応じて効果的な学習形態を取り入れていきたいと思っています。

授業風景～5年生の研究授業(算数)から～

夏休み前の「図形」の学習で、図形仮面からの挑戦問題をみんなで力を合わせて解きました。



図形仮面：四角形の4つの角の和を、ものさし1本だけ使って求められるかな？



キーワードは
対角線かな？



同じ色カードを持つ
友達ちと、どんな
ふうに考えたか
話し合ったよ。

